



新 MONO ピックアップ!

HORIBA ドライブレコーダー どら猫2

ドライブレコーダー

価格：オープン（オートボックス店頭での参考価格：4万9800円）

☎ホリバアイテック ☎03-3866-0984 www.dorareco.jp/

事故の衝撃を感知して 前後20秒間を自動録画 両面テープで手軽に設置!

今回、テストしたドライブレコーダー「どら猫2」は、運転時の前方映像を記録することで、飛行機のフライトレコーダーと同じように事故に至るまでの状況を把握するのに役立つ便利なアイテム。

ドライブレコーダーは、タクシーやトラックなどの営業車に搭載されるようになったが、搭載車は慎重に運転するようになり、結果的に事故を抑止する効果も発揮しているという。営業車用のドライブレコーダーは、映像だけでなく、速度、ブレーキ、方向指示器、空車/実車などのデータも記録。さらにGPSを搭載して位置情報まで記録するシステムもある。それだけコストも高く、きちんとした取り付け作業も必要になってくる。

どら猫2は、一般の人でも気軽に使えるように、映像の記録のみに機能をしぼったリーズナブルな製品だ。本体内の加速度センサーで事故の衝撃や急加減速な

どを感知して、前後20秒間（事故前15秒間、事故後5秒間）の映像を録画。衝撃の種類を2種類に分けて記録し、手動録画にも対応。大きな衝撃で電源が途絶えても、その瞬間のデータは記録できる。

もし事故を起こした場合、どら猫2で状況映像を記録してあれば、参考資料としても役立つだろう。また、自分が停車中などに前方で事故が発生した場合には、本体スイッチを押すことで、前後20秒の事故状況を録画することができる。

データが記録されたCFカードを本体から外して、パソコン（ウィンドウズ）で再生。前車のナンバープレートの文字までは識別できないが、道路標識や信号の色は、しっかりと確認できた。事故ほどの大きな衝撃でなくても、急ブレーキ程度（感度は10段階で調整可能）で記録される。専用ページに映像サンプルがあるので、興味がある人はチェックしよう。



◀横方向107度、縦方向79度という広角レンズを搭載する高感度30万画素CMOSカラーセンサー（カメラ）が、30フレーム/秒のスムーズな動きの映像を撮影



▶運転席からの視界を妨げないような位置にどら猫2を両面テープを使って設置。配線は電源コードをシガーライターソケットに差し込むだけで、とてもシンプル



◀CF（コンパクトフラッシュ）カードに記録された映像をパソコンの専用ビューアソフトで再生。映像サイズは640×400ピクセルで記録される